

研究資料

ハイパフォーマンススポーツにおける  
新型コロナウイルス感染症の影響についての一考察  
A study of the influence of COVID-19 on high performance sport

山下修平<sup>1)</sup>  
Shuhei Yamashita<sup>1)</sup>

**Abstract :** The world is currently struggling with the global health emergency of COVID-19 (coronavirus disease 2019). The COVID-19 pandemic has put a halt to numerous high-performance sport activities; in particular, the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games have been postponed until 2021. As the United Nations has pointed out, the actions that countries take now in response to the spread and impact of COVID-19 will be fundamental to a fair and sustainable transition to a new social contract in the years ahead. Thus, it is time to transform the “Old Normal” into the “New Normal” in a variety of fields, and high-performance sports is no exception. We aim to summarize what is important when seeking to determine how COVID-19 will impact high-performance sports and to discuss the challenges of high-performance sports in the “New Normal.” There is concern about the impact of COVID-19 on the mental health of elite athletes and the loss of opportunities for competition in the pathways of athlete development. In conclusion, athletes, coaches, and stakeholders in high-performance sports will compete to quickly adapt to the “New Normal” when high-performance sports activities restart. As COVID-19 could fundamentally change our approach to high-performance sports in the future, this issue requires further analysis.

**Key words :** COVID-19, New Normal, guideline for retraining

キーワード：新型コロナウイルス感染症，新しい生活様式，トレーニング再開ガイドライン

---

<sup>1)</sup> 日本スポーツ振興センター

<sup>1)</sup> Japan Sport Council

E-mail : shuhei.yamashita@jpnssport.go.jp

受付日：2020年6月8日

受理日：2020年7月29日

## I. はじめに

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行について、世界保健機関（以下、WHO）は2020年1月31日に中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生状況が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると発表した<sup>12)</sup>。その後、2月28日に世界規模で流行する危険性について最高レベルの「非常に高い」と表明し<sup>42)</sup>、3月11日にパンデミックとの認識を表明した<sup>43)</sup>。

我が国においても、4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態の発生が宣言された<sup>22)</sup>。我が国においては「新しい生活様式」という考え方が提唱され、様々な分野において、これまでの考え方や行動を見つめ直す必要性が高まっている。国際的にも、国際連合が「各国が講じている回避といった行動は、公正で持続可能な新しい社会構造への今後数年間での移行の基盤を築く上での基本」と指摘しているように<sup>37)</sup>、「New Normal」と表現される新たな考え方に基づく社会の構築が始まっていると言える。そこで本稿では、2020年5月20日から6月2日までの期間に収集した情報を基に、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に対して、ハイパフォーマンススポーツはどのような影響を受け、どのような対応を行ったのかについて概観するとともに、今後の課題について検討する。

## II. ハイパフォーマンススポーツにおける 新型コロナウイルス感染症の影響

### 1. 国際的な規模でのアスリートの活動への影響

WHOのパンデミック宣言後にも感染者数、死者数は世界規模で急増し続け<sup>44)</sup>、イギリス政府が3月23日から3週間の全国民原則自宅待機を指示した<sup>33)</sup>のをはじめ、世界各国で社会的距離を保つ政策が講じられ、国境を超える移動の制限が行われた<sup>48)</sup>。

世界各地での都市封鎖、社会的距離を隔てる衛生対策によるウイルス拡散防止策によりハイパ

フォーマンススポーツのトレーニング拠点も閉鎖<sup>18),38)</sup>された。これにより、アスリートたちのトレーニング、試合といった活動が制限され、世界中のスポーツが停止した状態となった<sup>9),20),32)</sup>。

### 2. アスリートのメンタルヘルスへの影響

新型コロナウイルス感染症へのあらゆる対策が講じられたことにより、メンタルヘルスの問題がより広い人口に影響を与える可能性が高いことが指摘されている<sup>31),45)</sup>。アスリートにおいても、活動が制限されて以降のメンタルヘルスが問題となっているとする報告もある<sup>6),17),39)</sup>。我が国においても、競技水準の高いアスリートらが、各自が自宅で工夫をして練習していること、体力や感覚がどのくらい保てているのか分からない不安があることを表明している<sup>15)</sup>。このようにトレーニングが中断していることによってアスリートが抱える不安は大きく、喫緊の対応が必要な課題であると言える。

メンタルヘルスに関する問題への対応策として、国際水泳連盟（FINA）は、新型コロナウイルス感染症の影響により大会などの日程が変更されることによって不安を感じやすくなる可能性を指摘し、不安やコントロールできない出来事に対処する方法をホームページ上で紹介している<sup>5)</sup>。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響によるロックダウン期間にアスリートが引退後の人生についての計画を立て、将来に備える機会となった好事例を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮してハイパフォーマンススポーツとライフスタイルのバランスについて検討することの重要性についての指摘もある<sup>10)</sup>。

### 3. わが国のハイパフォーマンススポーツにおける 新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態 宣言への対応

我が国のハイパフォーマンススポーツにおいても、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の発出を受け、中核的なトレーニング拠点である日本スポーツ振興センターハイパフォーマンス

スポーツセンター（以下、ハイパフォーマンススポーツセンター）の4月8日から5月6日までの営業中止、5月6日に発表された緊急事態宣言の延長を受けた5月31日までの営業中止の延長を、日本スポーツ振興センターが発表した<sup>24)</sup>。

その間、ハイパフォーマンススポーツセンターは、ホームページ上に「臨時特設サイト(競技団体、アスリート向け)」を開設し、中央競技団体を対象とする電話相談、支援プログラム等の提供を続けた<sup>25)</sup>。さらに、ハイパフォーマンスセンターは、トップアスリートのトレーニングに関する「今後の活動に向けた段階的準備の考え方<sup>27)</sup>」及び国内外の医科学的な文献・資料等情報を基にした「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン<sup>28)</sup>」を公表した。

### Ⅲ. トレーニング活動の継続、再開に向けた取組について

#### 1. 情報通信技術を活用したトレーニング継続、オンライントレーニングの試み

多くのアスリートがトレーニングの継続が困難な一方で、情報通信技術（以下、ICT）などを活用し、非集合型のトレーニングを実施し、活動を継続させていこうという取組も見られた。

世界的なサッカークラブの一つであるFCバルセロナでは、競技の再開時にアスリートを通常時の運動負荷に対応できる最適な状態にするため、自宅でのトレーニング負荷をモニタリングし、管理する取組を実施した<sup>3)</sup>。オーストラリアのハイパフォーマンスセンターのひとつであるNew South Wales Institute of Sportでは、「High Performance at Home」というキャンペーンを実施し、インターネットを介して自宅でトレーニングするアスリートを支援している<sup>19)</sup>。

日本国内においても、フェンシング日本代表チーム、サッカーやラグビーのプロチームにおいて、「Zoom」などのICTを活用したトレーニングセッションが選手やコーチの発案で実施され<sup>11),21),30)</sup>、非集合型のトレーニングを模索する動き

がみられた。また、トレーニング再開時の傷害の予防を主な目的とする、専門的トレーニングに移行するための準備プログラムをハイパフォーマンススポーツセンターが実施した<sup>26)</sup>。

#### 2. 中断したトレーニングを再開するためのガイドライン作成

各国のオリンピック、パラリンピックを目指すアスリートが利用する主要なトレーニングセンターがWHOによるパンデミックの宣言以降に閉鎖され<sup>18),24),38)</sup>、トレーニングが十分にできない状態<sup>39)</sup>となった。4週間程度のトレーニングからの離脱はパフォーマンスを低下させることが報告<sup>14),16)</sup>されているように、新型コロナウイルス感染症対策による長期間に及ぶトレーニング機会の制限はアスリートにとって脅威である。

新型コロナウイルス感染症への対策によるパフォーマンスの損失を最小限に抑え、安全な指針をアスリートへ提供するための科学的な取り組みの重要性が指摘されている<sup>1)</sup>。各国のスポーツ統括機関は、移動制限や社会的距離を保つなどの社会的に求められる新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を考慮し、その制限に対応しながらスポーツ活動を再開するためのガイドラインを、スポーツ医学の知見を踏まえて作成し、公表した(表1)。これらのガイドラインは、それぞれの国が講じる感染防止戦略の影響を受けるものの、再開までのプロセスをいくつかの段階に分けて整理されている。それぞれの段階において社会的に求められる衛生対策を講じながら、通常的环境下でのトレーニングが実施できるまでのトレーニング実施の指針となっていることは共通している。

また、ラグビーの国際統括組織であるWorld Rugbyは、競技特性を考慮した競技特化型のガイドラインを公表した<sup>46)</sup>。

### Ⅳ. 新型コロナウイルス感染症の影響下でのハイパフォーマンススポーツの在り方の模索

#### 1. 試合機会の減少への対応

競技大会は、スポーツにおける国際的な成功を

表1. スポーツ活動に関するガイドライン公表の各国比較（2020年6月2日時点）

国名	公表された資料	公表した機関	主な特徴
アメリカ	Return to Training Considerations Post-COVID-19 <sup>40)</sup>	United States Olympic & Paralympic Committee	NOC/NPCのスポーツ医学部門が発表 再開プロセスを5段階で整理 アスリートが取るべき行動を定義
イギリス	Elite sport return to training guidance: Stage One <sup>34)</sup> , Stage Two <sup>35)</sup> Elite sport - return to domestic competition guidance <sup>36)</sup>	Department for Digital, Culture, Media & Sport, Public Health England, the Department for Health and Social Care, UK Sport	競技水準の高いアスリートを対象とし、 競技団体やクラブが実施すべき事項を定義 再開プロセスを5段階で整理 政府系機関の連携により作成
オーストラリア	The Australian Institute of Sport (AIS) Framework for Rebooting Sport in a COVID-19 Environment <sup>2)</sup>	Australian Institute of Sport	再開プロセスを3段階で整理 競技ごとの指針を含む 競技団体やクラブが実施すべき事項を定義
日本	今後の活動に向けた段階的準備の考え方 <sup>27)</sup> 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン (HPSC版) <sup>28)</sup>	日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター	基本的な考え方を定義 再開プロセスを4段階で整理

得るための要因の一つとして挙げられている<sup>4)</sup>。また、育成年代のアスリートにとって、主要競技大会でのパフォーマンスは、競技団体の目に留まり、支援を得る契機となる重要なマイルストーンであることが指摘されている<sup>8)</sup>。このようにアスリートの強化、育成を考える上で重要な要因の一つである競技大会による競争機会が、新型コロナウイルス感染症の影響で広く失われているため、その代替手段を早急に検討する必要性は高い。

我が国においても、競泳の日本選手権<sup>23)</sup>や全国高等学校総合体育大会<sup>49)</sup>が中止になるなどの競技大会への影響がみられた。しかしながら、競技大会の機会喪失は世界各国で広く起きているため、代替手段を創出することは大きなアドバンテージを生むことにもなるということを考えておくべきである。

## 2. 「新しい生活様式」への対応

国際競技力向上においてトレーニング拠点の重要性は高く<sup>4)</sup>、競技水準の高いアスリートトレーニング拠点に集約して強化を図る仕組みが各国で構築されてきた。我が国においても、2001年に国立スポーツ科学センター、2008年にナショナルトレーニングセンターが設置（2019年に拡

充）され、ハイパフォーマンススポーツセンターを中核拠点とした国際競技力向上の施策が展開されている。しかしながら、新型コロナウイルスへの対策を想定した密集、密接、密閉を回避する基本的な生活様式が盛り込まれた「新しい生活様式」<sup>13)</sup>が提唱されたことを受け、アスリート育成・強化の推進を図る際にもそれらを踏まえる必要に迫られている。そのためにも、中核的な拠点での集合型トレーニングを活動の基軸に捉え、育成から強化に至る全てのプロセスを網羅しようとする仕組みから脱却できるアイデアも必要となる。

また、選手同士の濃厚接触を減らす一時的なルールの変更案を公表している国際競技連盟があるように<sup>47)</sup>、新型コロナウイルス感染症への感染リスクの軽減策を考慮したルール改正についても注視が必要である。

## V. 結語

新型コロナウイルス感染症への対策は社会全体での試行錯誤が続いている。ハイパフォーマンススポーツにおいても同様に、各国、各国際競技連盟による試行錯誤が行われている。そのような状況において、我が国のハイパフォーマンススポーツ関係者には、社会全体で講じられる対策を考慮

しながら、国際競技力における僅かな差を生み出す視点を持つことが求められる。

文献

- 1) Andreato LV, Coimbra DR, Andrade A. Challenges to athletes during the home confinement caused by the COVID-19 pandemic. *Strength Cond J*, 42(3): 1-5, 2020.
- 2) Australian Institute of Sport. AIS Framework for Rebooting Sport. [https://ais.gov.au/health-wellbeing/covid-19#ais\\_framework\\_for\\_rebooting\\_sport](https://ais.gov.au/health-wellbeing/covid-19#ais_framework_for_rebooting_sport) (2020年6月2日)
- 3) Barca Innovation Hub. COVID-19: How FC BARCELONA trains during the isolation period. <https://barcainnovationhub.com/covid-19-how-fc-barcelona-trains-during-the-isolation-period/> (2020年6月2日)
- 4) De Bosscher V, De Knop P, Van Bottenburg M, Shibli S. A conceptual framework for analysing sports policy factors leading to international sporting success. *Eur Sport Manag Q*, 6(2), 185-215, 2006.
- 5) Fédération internationale de natation (FINA). #MentallyFit Aquatic Athletes with the COVID-19 Pandemic. [https://www.fina.org/sites/default/files/covid-19\\_mentallyfit\\_aquatic\\_athletes\\_with\\_the\\_covid.pdf](https://www.fina.org/sites/default/files/covid-19_mentallyfit_aquatic_athletes_with_the_covid.pdf) (2020年6月2日)
- 6) FIFPRO. Coronavirus Shutdown: Sharp rise in players reporting depression symptoms. <https://www.fifpro.org/en/health/coronavirus-covid-19-page/coronavirus-shutdown-sharp-rise-in-players-reporting-depression-symptoms> (2020年6月2日)
- 7) Finnoff J. Return to Training Considerations Post-COVID-19 United States Olympic & Paralympic Committee. <https://www.teamusa.org/coronavirus> (2020年6月2日)
- 8) Gulbin J, Croser M, Morley E, Juanita Weissensteiner. An integrated framework for the optimisation of sport and athlete development: A practitioner approach. *J Sport Sci*, 31(12): 1319-1331, 2013.
- 9) Hammami A, Harrabi B, Mohr M, Krustup P. Physical activity and coronavirus disease 2019 (COVID-19): specific recommendations for home-based physical training. *Manag Sport Leis*, DOI: 10.1080/23750472.2020.1757494, 2020.
- 10) High Performance Sport New Zealand (HPSNZ). Athletes going 'back to school' during lockdown. <https://hpsnz.org.nz/journal-entries/athletes-going-back-to-school-during-lockdown/> (2020年6月2日)
- 11) 時事通信. 「在宅」で戦術共有 休止長期化、試行錯誤も. <https://www.jiji.com/jc/article?k=2020042100688&g=sports> (2020年6月2日)
- 12) 厚生労働省. 中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎について (令和2年1月31日版). [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_09267.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09267.html) (2020年6月2日)
- 13) 厚生労働省. 新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式. [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_newlifestyle.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html) (2020年6月2日)
- 14) Madsen K, Pedersen PK, Djurhuus MS, Klitgaard NA. Effects of detraining on endurance capacity and metabolic changes during prolonged exhaustive exercise. *J Appl Physiol*, 75(4):1444-1451, 1993.
- 15) 文部科学省. 萩生田大臣が、トップアスリートの方々と意見交換. [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/activity/detail/2020/20200513.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2020/20200513.html) (2020年6月2日)
- 16) Mujika I, Padilla S. Muscular characteristics of

- detraining in humans. *Med Sci Sports Exerc*, 33(8):1297-1303, 2001.
- 17) National Collegiate Athletics Association (NCAA). Survey shows student-athletes grappling with mental health issues. <http://www.ncaa.org/about/resources/media-center/news/survey-shows-student-athletes-grappling-mental-health-issues> (2020年6月2日)
- 18) New South Wales Institute of Sport. COVID-19 UPDATE Closure of NSWIS Facility & Training Environments. <https://www.nswis.com.au/nswis-news/covid-19-update-closure-of-nswis-facility-training-environments/> (2020年6月2日)
- 19) New South Wales Institute of Sport. NSWIS Launches 'HIGH PERFORMANCE AT HOME' Campaign Home. <https://www.nswis.com.au/nswis-news/nswis-launches-high-performance-at-home-campaign/> (2020年6月2日)
- 20) Nicola M, Alsafi Z, Sohrabi C, Kerwan A, Al-Jabir A, Iosifidis C, Agha M, Agha R. The socio-economic implications of the coronavirus pandemic (COVID-19): A review. *Int J Surg*, 78: 185-193, 2020.
- 21) 日本経済新聞. 代表選手、オンラインで合同練習. <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO58937580R10C20A5UP2000/> (2020年6月2日)
- 22) 日本政府新型コロナウイルス感染症対策本部. 新型コロナウイルス感染症対策本部 (第27回). [https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel\\_coronavirus/th\\_siryou/sidai\\_r020407.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryou/sidai_r020407.pdf) (2020年6月2日)
- 23) 日本水泳連盟. 競泳日本選手権の中止について. <https://www.swim.or.jp/topics/detail.php?i=747> (2020年6月2日)
- 24) 日本スポーツ振興センター. 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応についてお知らせ. <https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/LinkClick.aspx?fileticket=yK6o9eVud%2fw%3d&tabid=36&mid=1616> (2020年6月2日)
- 25) 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター. 【臨時特設サイト】(競技団体、アスリート向け)について. <https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/news/httpswwwjpnsportgojphpscfnathlete/tabid/696/Default.aspx> (2020年6月2日)
- 26) 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター. 国立スポーツ科学センター (JISS) を中心とした電話相談、支援プログラムの一部拡張について. <https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/LinkClick.aspx?fileticket=gT9eL%2bDfUOI%3d&tabid=36&mid=1616> (2020年6月2日)
- 27) 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター. 今後の活動に向けた段階的準備の考え方. [https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/dankaitekijunbi\\_0520.pdf](https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/dankaitekijunbi_0520.pdf) (2020年6月2日)
- 28) 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン (HPSC版). <https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/katoudousaikaiguide.pdf> (2020年6月2日)
- 29) Schinke R, Papaioannou A, Henriksen K, Si G, Zhang L, Haberl P. Sport psychology services to high performance athletes during COVID-19. *Int J Sport Exerc Psychol*, 18(3), 269-272, 2020.
- 30) Sunwolves. SUNWOLVES ENERGY CHALLENGE PROJECT. <https://sunwolves.or.jp/information/article/6975/> (2020年6月2日)
- 31) Torales J, O' Higgins M, Castaldelli-Maia JM, Ventriglio A. The outbreak of COVID-19

- coronavirus and its impact on global mental health. *Int J Soc Psychiatry*, 66(4), 317-320, 2020.
- 32) Toresdahl BG, Irfan M Asif. Coronavirus disease 2019 (COVID-19): Considerations for the competitive athlete. *Sports Health*, 12(3):221-224, 2020.
- 33) UK Government. PM address to the nation on coronavirus: 23 March 2020.  
<https://www.gov.uk/government/speeches/pm-address-to-the-nation-on-coronavirus-23-march-2020> (2020年6月2日)
- 34) UK Government. Elite sport return to training guidance: Stage One.  
<https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation/elite-sport-return-to-training-guidance-step-one--2> (2020年6月2日)
- 35) UK Government. Elite sport return to training guidance: Stage Two.  
<https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation/elite-sport-return-to-training-guidance-stage-two> (2020年6月2日)
- 36) UK Government. Elite sport - return to domestic competition guidance.  
<https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-guidance-on-phased-return-of-sport-and-recreation/elite-sport-return-to-domestic-competition-guidance> (2020年6月2日)
- 37) United Nations. A UN framework for the immediate socio-economic response to COVID-19. pp. 38-40, 2020.
- 38) United States Olympic & Paralympic Committee. USOPC Coronavirus Update – March 18, 2020.  
<https://www.teamusa.org/coronavirus> (2020年6月2日)
- 39) United States Olympic & Paralympic Committee. COVID-19 Team USA Athlete Survey Result.  
<https://www.teamusa.org/coronavirus> (2020年6月2日)
- 40) United States Olympic & Paralympic Committee. Return to Training Considerations Post-COVID-19.  
<https://www.teamusa.org/coronavirus> (2020年6月2日)
- 41) 和久貴洋, 阿部篤志, バイネルト トビアス. オリンピックへ向けた国内の取り組み (1) 国内外の国際競技力向上への取り組みからみた北京オリンピックと日本. *体育の科学*, 58(6): 429-437, 2008.
- 42) World Health Organization. WHO Director-General's opening remarks at the media briefing on COVID-19 - 28 February 2020.  
<https://www.who.int/dg/speeches/detail/who-director-general-s-opening-remarks-at-the-media-briefing-on-covid-19---28-february-2020>.  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_09267.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09267.html) (2020年6月2日)
- 43) World Health Organization. WHO Director-General's opening remarks at the media briefing on COVID-19 - 11 March 2020.  
<https://www.who.int/dg/speeches/detail/who-director-general-s-opening-remarks-at-the-media-briefing-on-covid-19---11-march-2020> (2020年6月2日)
- 44) World Health Organization. Coronavirus disease (COVID-19) Situation Report – 126.  
[https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200525-covid-19-sitrep-126.pdf?sfvrsn=887dbd66\\_2](https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200525-covid-19-sitrep-126.pdf?sfvrsn=887dbd66_2) (2020年6月2日)
- 45) World Health Organization. Mental health and psychosocial considerations during the COVID-19 outbreak.

- <https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/331490/WHO-2019-nCoV-MentalHealth-2020.1-eng.pdf>(2020年6月2日)
- 46) World Rugby. World Rugby publishes COVID-19 return to rugby guidelines.  
<https://www.world.rugby/news/568915> (2020年6月2日)
- 47) World Rugby. World Rugby creates access to optional domestic law trials to further reduce COVID-19 risk.  
<https://www.world.rugby/news/569881> (2020年6月2日)
- 48) World Tourism Organization (UNWTO). COVID-19 Related Travel Restrictions – A Global Review for Tourism second report.  
<https://webunwto.s3.eu-west-1.amazonaws.com/s3fs-public/2020-04/TravelRestrictions%20-%2028%20April.pdf> (2020年6月2日)
- 49) 全国高等学校体育連盟. 令和2年度公益財団法人全国高等学校体育連盟4月臨時理事会における協議結果等について(通知).  
[https://www.zen-koutairen.com/pdf/news\\_soutai2020\\_kekka.pdf](https://www.zen-koutairen.com/pdf/news_soutai2020_kekka.pdf) (2020年6月2日)